

関係各位

『九州グリーン・ツーリズムシンポジウム 2016』開催のご案内

歳末ご多忙のおり、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

九州は、グリーンツーリズム推進、啓蒙のため、これまで「九州グリーン・ツーリズムシンポジウム」を各県持ち回り方式で8回実施してきました。(1回目長崎県波佐見町、2回目熊本県人吉・球磨地域、3回目大分県、4回目鹿児島県、5回目長崎県、6回目福岡県、7回目宮崎県、8回目佐賀県)その中で、民泊実践者の中でも民泊型教育旅行の取組みを主とする方々、一般の受入れを主とする方々、それから民泊のみならず、どぶろくや味噌など加工を軸として、周辺地域でのツーリズム展開を行う方々、または直売所を核として地域全体でツーリズムを実施していくなど、民泊、加工所、直売所などの点から地域経営、地域ビジネスといった地域全体でグリーンツーリズム、エコツーリズム、ヘルスツーリズムという行政の枠を超えた“ツーリズム”展開が重要となってきました。

そこで、九州各地域の有志があつまり、九州のツーリズム事業の発展のために、ネットワークをつくり、学び、更にはツーリズム事業を実践していくために、新たに『九州ツーリズムプラットフォーム “ムラたび九州”』を立ち上げることになりました。

その設立決起集会として今年度は下記内容にて2回、九州各県でシンポジウムなどを行います。内容をご覧いただき、ご自身の興味あるところに是非、ご参加いただき、当日この会の説明も行いますので、ご主旨賛同いただく場合には、是非ともこの会にご参画いただき、一緒に九州のツーリズム事業を推進していただければと思っております。

なお、今までの九州グリーン・ツーリズムシンポジウムにつきましては、年に1回各県1か所にて集っての会でしたが、今後はテーマ別に、地域分散型にてより深く学んでいくために、20名から最大でも100名程度の会の形で実施してまいります。

新たな体制、運営組織、会の趣旨(規約など含め)につきましては、個々の会にてご説明させていただきます。

皆様のご参加、是非お待ちしております。

平成28年12月吉日

九州ムラたび応援団 団長

養父 信夫

新たに立ち上げる『九州ツーリズムプラットフォーム “ムラたび九州”』の理念について、以下の3つを柱といたします。

ムラの命を繋げます。

～ツーリズムの基本は命の源である食、水、空気など自然環境を守り、そして心の交流によって、よりよい生き方を共有し、次の世代に繋げていくことだと考えます。

ムラの宝を活かします。

～地域には食、景観、祭、匠の技など海外含め都市部の方々にとって魅力的な地域資源に溢れています。それを見つけ、磨き、活かして新たな地域経済を創出していきます。

ムラの笑顔を広げます。

～より良い交流によって、ムラのお年寄りの生きがい、そして生業も広がり、新たな雇用及び若者たちの起業によって移住者も増え、日本の原風景であるムラの暮らしを守ります。

## 【九州グリーン・ツーリズムシンポジウム 2016 のご案内】

### ■ 1月20日（金） 大分県臼杵市野津町『ムラにインバウンド』

訪日外国人旅行客数が2015年には1973万人を超え、2020年の東京オリンピックに向けて更なる増加が見込まれます。現状では都市圏の集客力が強いですが、繰り返し日本に来ている外国人の趣向は「日本の生活文化を体験したい」「自然と親しみたい」など、地方への興味が高いようです。現に、九州の農村エリアにもこれまで数多くの訪日外国人旅行者が訪れており、グリーンツーリズムの業界でも国際色が年々高まっています。

九州のグリーンツーリズムでのインバウンド受け入れの現状や今後の展望、課題をテーマに、地方へのインバウンド誘致や地域活性化との繋がりなどを語り合える場にしたいと思います。

場 所 野津中央公民館 大分県臼杵市野津町大字野津市 184 (0974-32-2270)  
定 員 100名  
参 加 費 全体シンポジウム1,000円 農村民泊6,800円  
スケジュール 14:00 オープニング  
14:30 パネルディスカッション (インバウンド関係者登壇予定)  
17:00 閉会、各自農泊先へ移動  
申 込 先 うすきツーリズム活性化協議会 [info@usuki-jikan.com](mailto:info@usuki-jikan.com) 0974-32-7181

### ■ 1月21日（土） 大分県宇佐市安心院町

第一部では、大分県立芸術文化短期大学の宮野先生にご講演をいただきます。宮野先生は講義の中で余暇の一つの過ごし方としてのグリーンツーリズムを取り上げ、学生達に農泊体験をしてもらい考える機会を作っていますが、その取り組みを中心にお話しいたします。第二部では「体験型教育旅行のこれから」をテーマに、送り手、受入実践者のそれぞれのサイドから、農泊体験学習に対するニーズや課題についてご意見をいただき、訪れる子供達により良い体験の場を提供できるように話し合っていきたいと思っています。

場 所 宇佐市地域交流ステーション 大分県宇佐市安心院町矢畑444  
定 員 100名  
参 加 費 全体シンポジウム500円 安心院ワインの夕べ2,500円  
農村民泊6,800円  
スケジュール 14:00 オープニング  
14:30 第一部 基調講演 宮野 幸岳 氏  
(大分県立芸術文化短期大学 国際総合学科 講師)  
15:45 第二部 パネルディスカッション「体験型教育旅行のこれから」  
17:00 閉会  
18:00 全体夕食会「安心院ワインの夕べ」  
19:30 各家庭に分かれて農泊  
申 込 先 NPO 法人安心院町グリーンツーリズム研究会

TEL: 0978-44-1158 FAX: 0978-44-0353 E-mail: [japan-ajimu-gt@basil.ocn.ne.jp](mailto:japan-ajimu-gt@basil.ocn.ne.jp)